

7-1 紀伊半島およびその周辺部の地震活動（1995年10月～12月）

Seismic Activity in and around the Kii Peninsula (October-December, 1995)

東京大学地震研究所

地震地殻変動観測センター

和歌山地震観測所

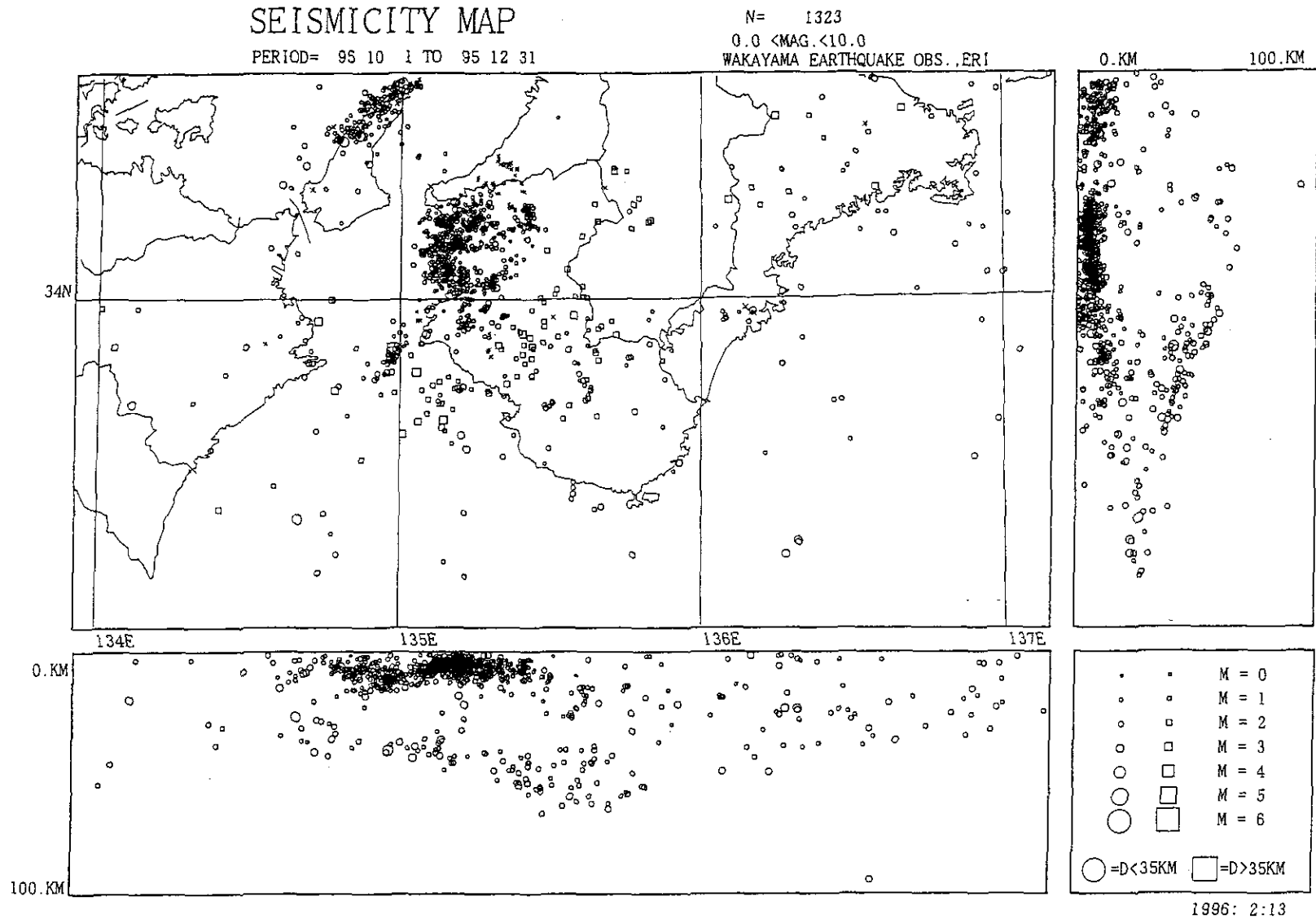
Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

今報告期間中の震源分布を第1図（紀伊半島およびその周辺部）、第2図（和歌山市、有田市付近）に示す。期間中（3カ月間）に第3図の範囲内には $M \geq 3.5$ は8回（前回10回）起こっている。内3回は1月17日に発生した兵庫県南部地震の余震で、10月14日神戸市西部付近にやや目立った地震（ $M=4.6$ ）が起こった。この地震のメカニズム解は南近畿の資料だけから見ると東西張力性の正断層型か水平横ずれ型に求まり、この地域で一般的な東西主圧力とは異なっているのが注目される。他の2つは余震域南端部付近に発生している。全体的には余震活動（第4図）に目立った変化は無く、減衰がやや鈍化してきている（第5図）。他領域の地震は5回で、四国東部から紀伊水道に起こった3回は共に地殻底下地震である。なお12月22日和歌山市紀ノ川河口沖の地震 $M=4.4$ では和歌山で震度4を記録し、有感地震を含む活発な余震活動をともなった。第6図は和歌山市、有田市付近の活動の時系列図（昨年1月より本年1月末まで）であるが、全体としては大きな時間変化は見られない。なお、今期間は前期間に比べ、紀中、紀南に目立った地震がなく、低調に見える（参考図）。特に日の岬沖の群発活動が11月後半以降（1月末現在まで）低調となっている（第7図）。この地域では上下2層の活動（地殻上部と地殻下部）があり、上記のものは地殻上部であるが、活動変化の見られる時期の11月24日 $M=3.8$ が下層部に発生している点で注目される。このメカニズム解は従来から求まっているものと類似のほぼ南北主圧力を示す水平横ずれ型である。（地殻上部の地震は東西主圧力でほぼ 90° ずれている。）

第1表 今期間中の $M \geq 3.5$ の震源表（*は兵庫県南部地震の余震）

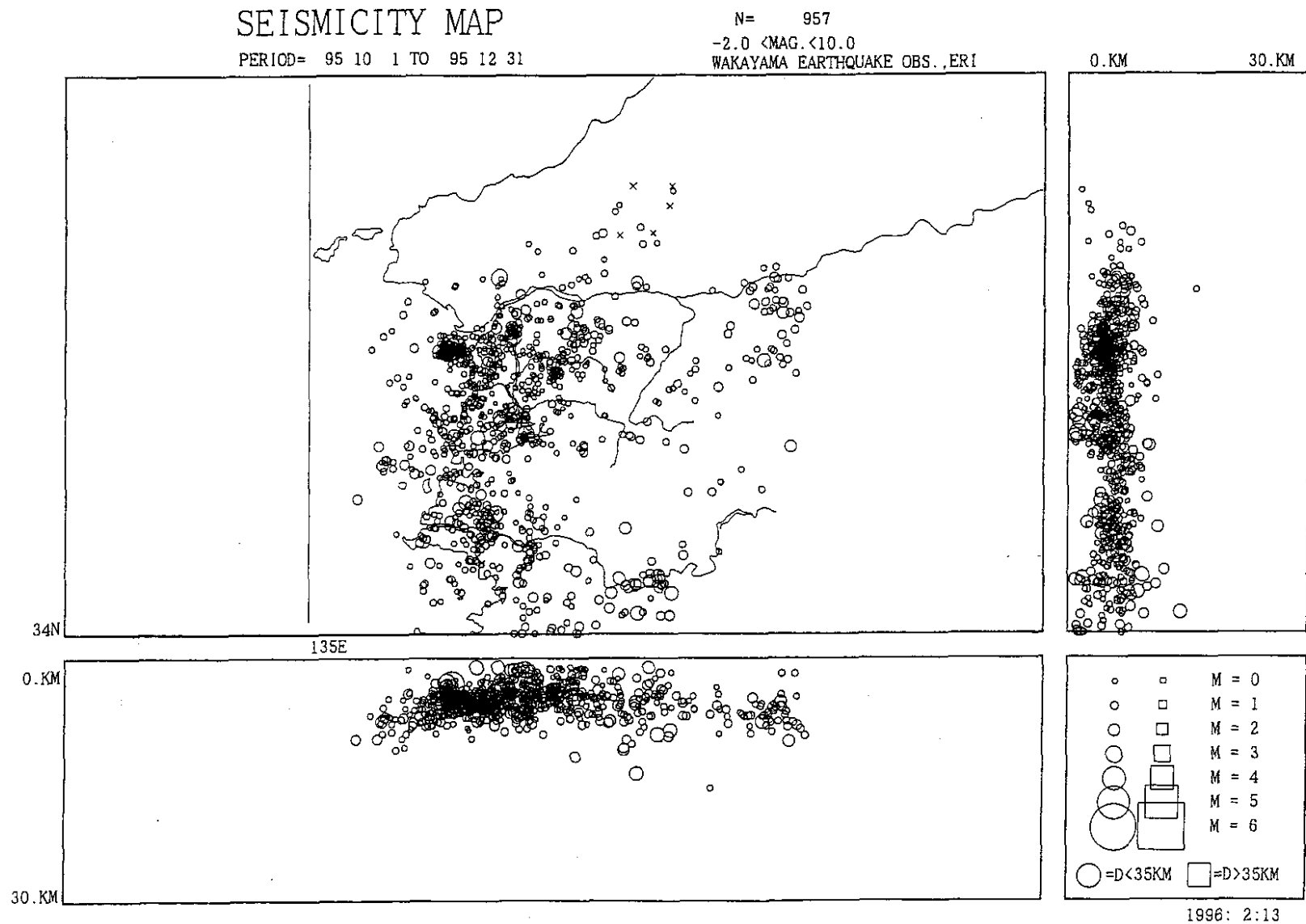
Table.1 List of comparatively large earthquake ($M \geq 3.5$) in and near the Kii peninsula.

No. 1	1995/10/04	06H31M	H=56KM	M=3.6	高知県東部
No. 2	10/14	02H04M	H=12KM	M=4.6	*神戸市西部付近
No. 3	11/24	14H48M	H=40KM	M=4.4	日の岬沖
No. 4	12/01	15H54M	H=4KM	M=3.7	渥美湾付近
No. 5	12/22	13H18M	H=27KM	M=3.5	室戸岬東方沖
No. 6	12/22	19H07M	H=9KM	M=3.6	*淡路島中部付近
No. 7	12/22	21H41M	H=3KM	M=4.4	紀ノ川河口付近
No. 8	12/27	09H18M	H=6KM	M=3.6	*淡路島中部付近

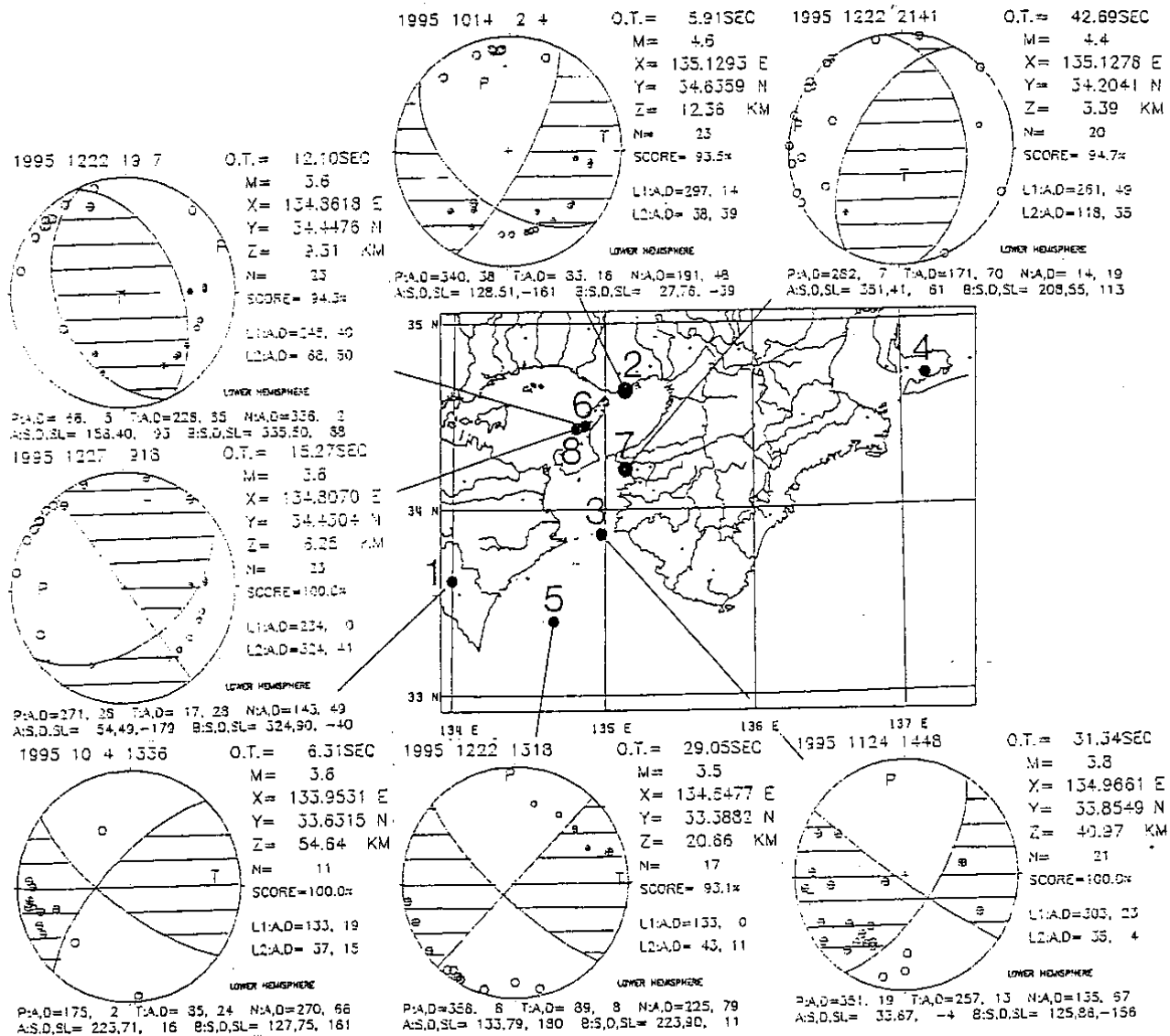


第1図 紀伊半島およびその周辺部の震源分布図 (1995年10~12月)

Fig. 1 Seismic activity in and around the Kii peninsula during the period Oct.-Dec., 1995.

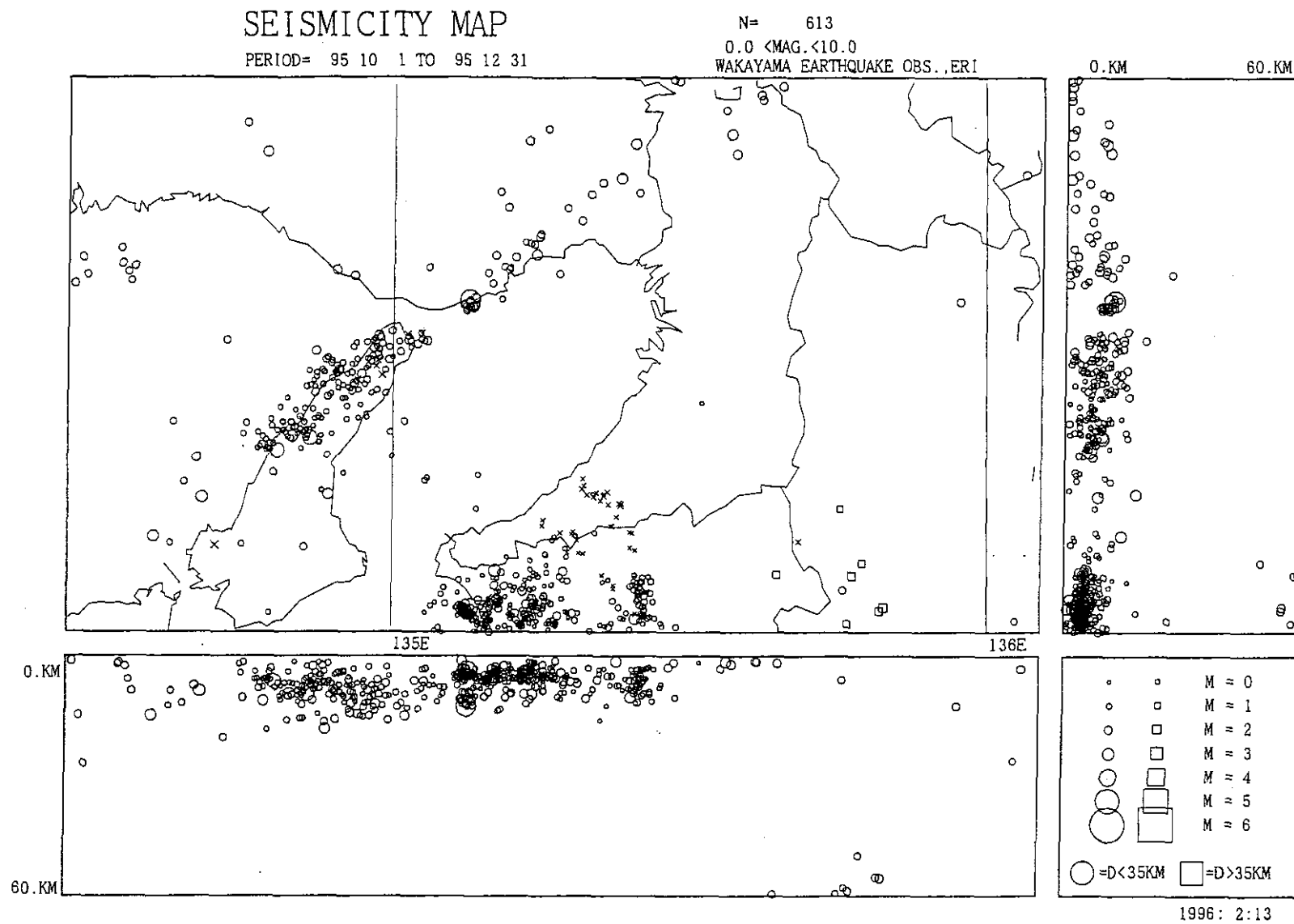


第2図 和歌山市, 有田市と周辺部の震源分布図 (1995年10~12月)
Fig. 2 Seismic activity in and around Wakayama city during the period Oct.-Dec., 1995.



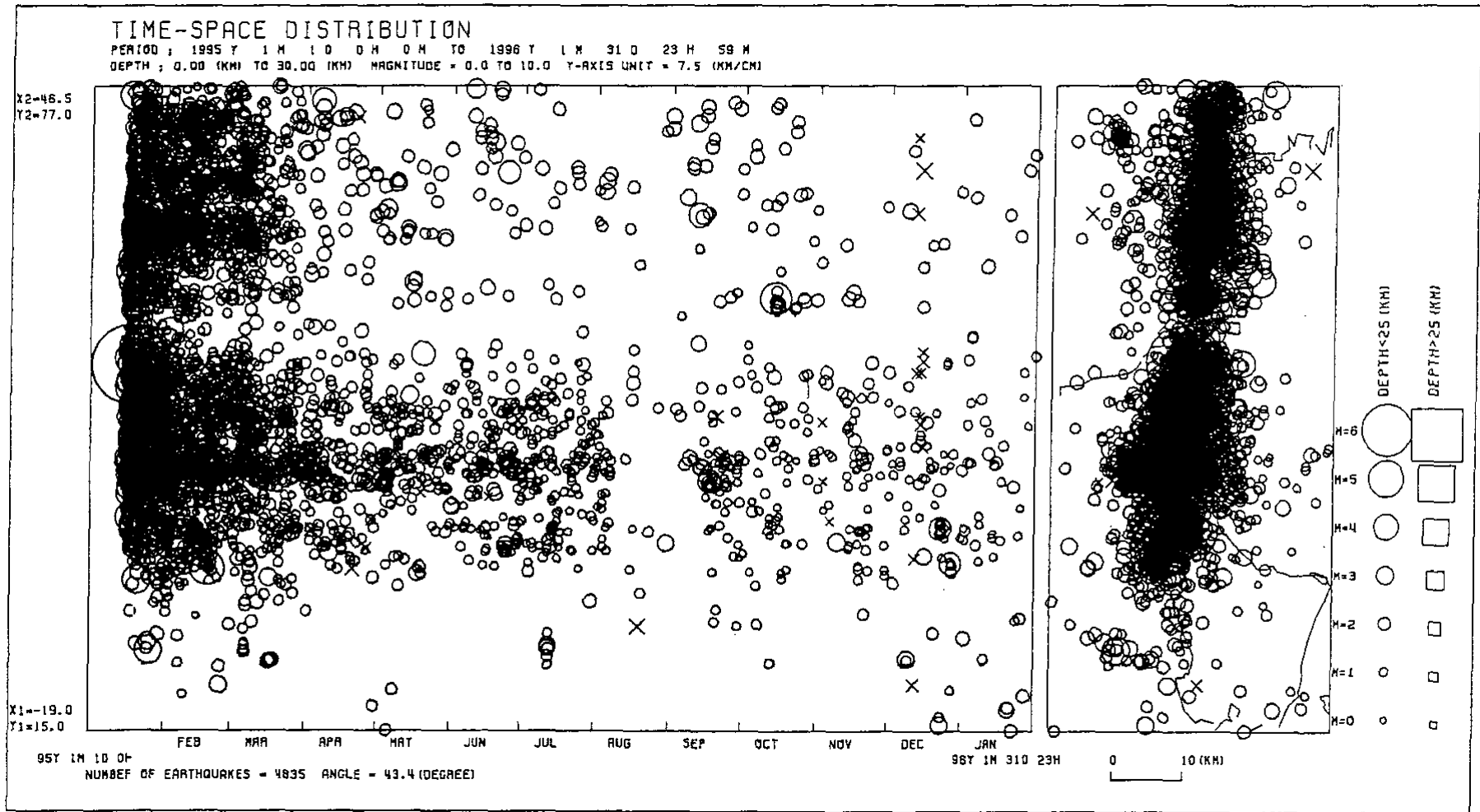
第3図 今期間中の $M \geq 3.5$ の震央と主な地震のメカニズム解

Fig. 3 Distribution of comparatively large earthquake ($M \geq 3.5$) and focal mechanism solutions in and around the Kii peninsula.



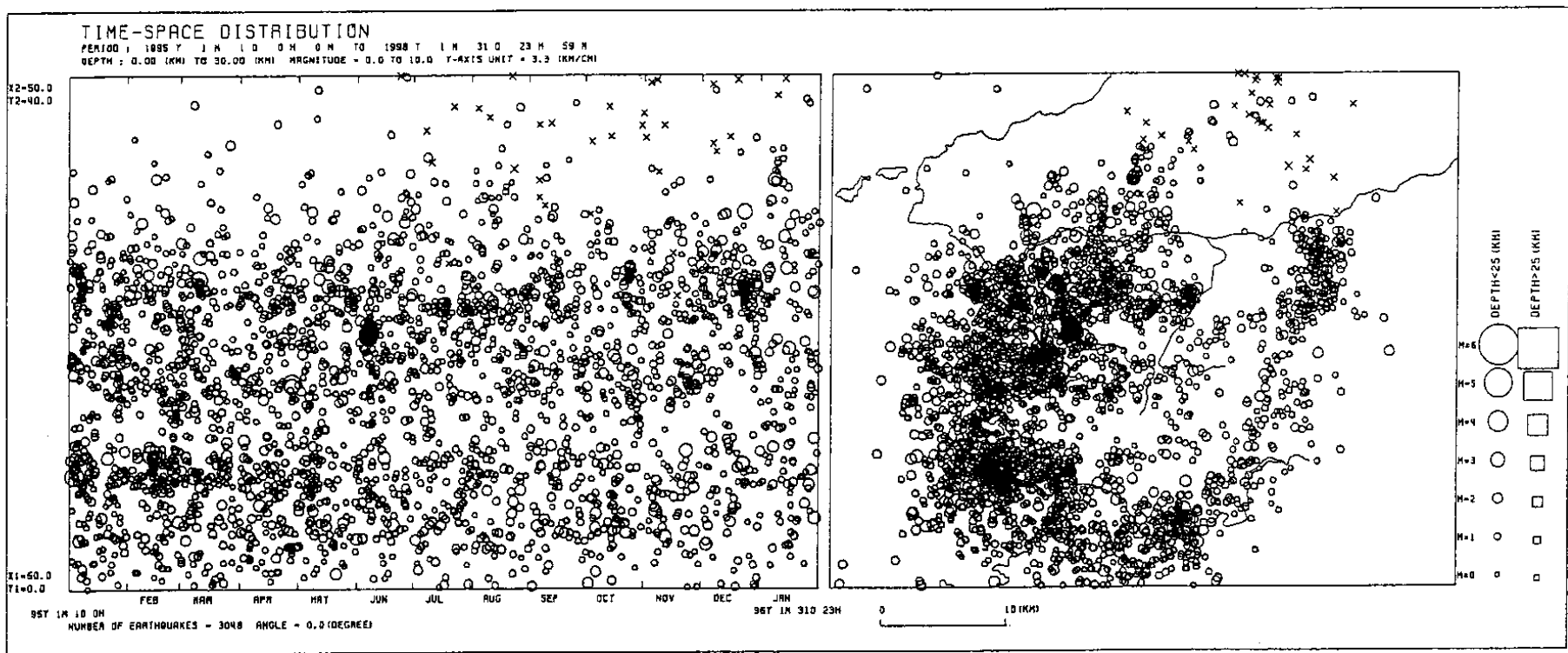
第4図 兵庫県南部地震の余震分布

Fig. 4 Distribution of aftershocks of the Hyogoken-nanbu zishin.



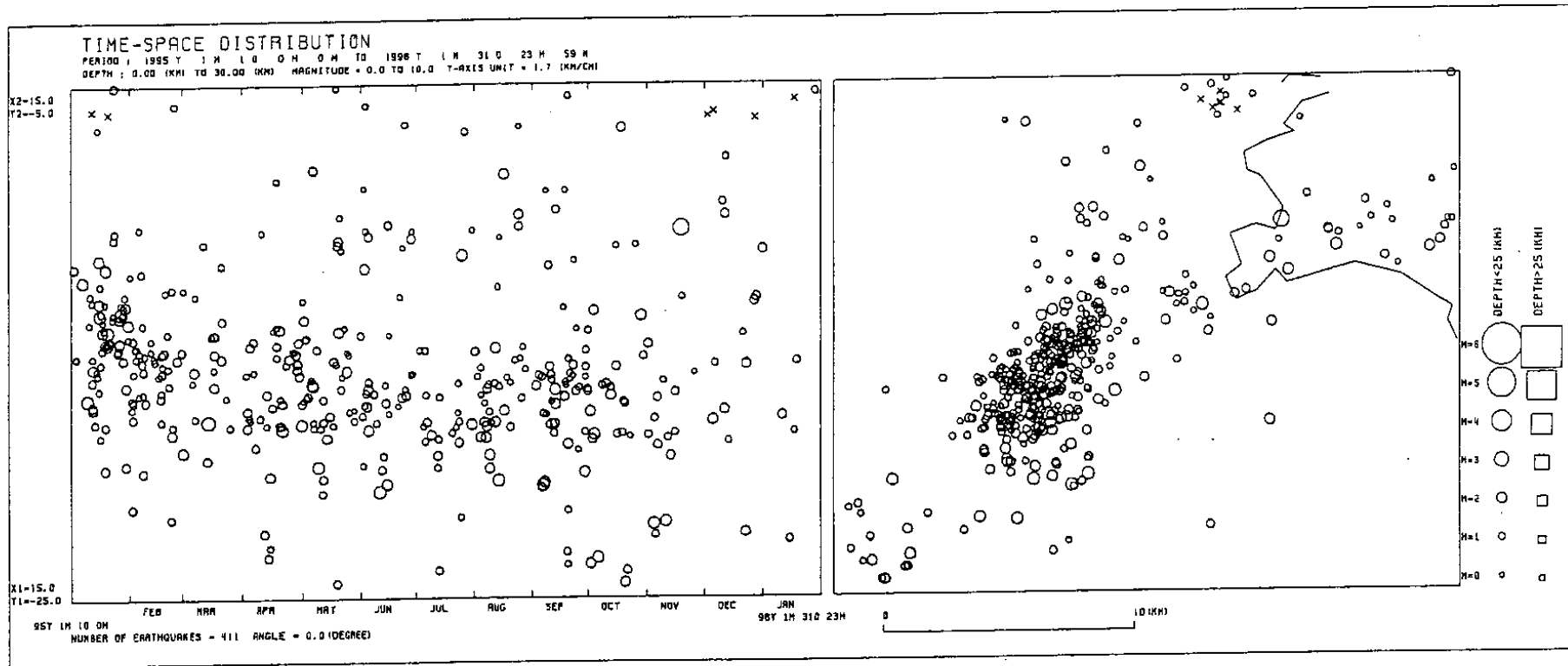
第5図 兵庫県南部地震の余震時系列図（補助図の四角で囲んだ範囲をA-B方向の断面に投影）

Fig. 5 Space-time distribution of earthquakes in the region indicated by a rectangular frame, during the period Jan. 1995-Jan. 1996.

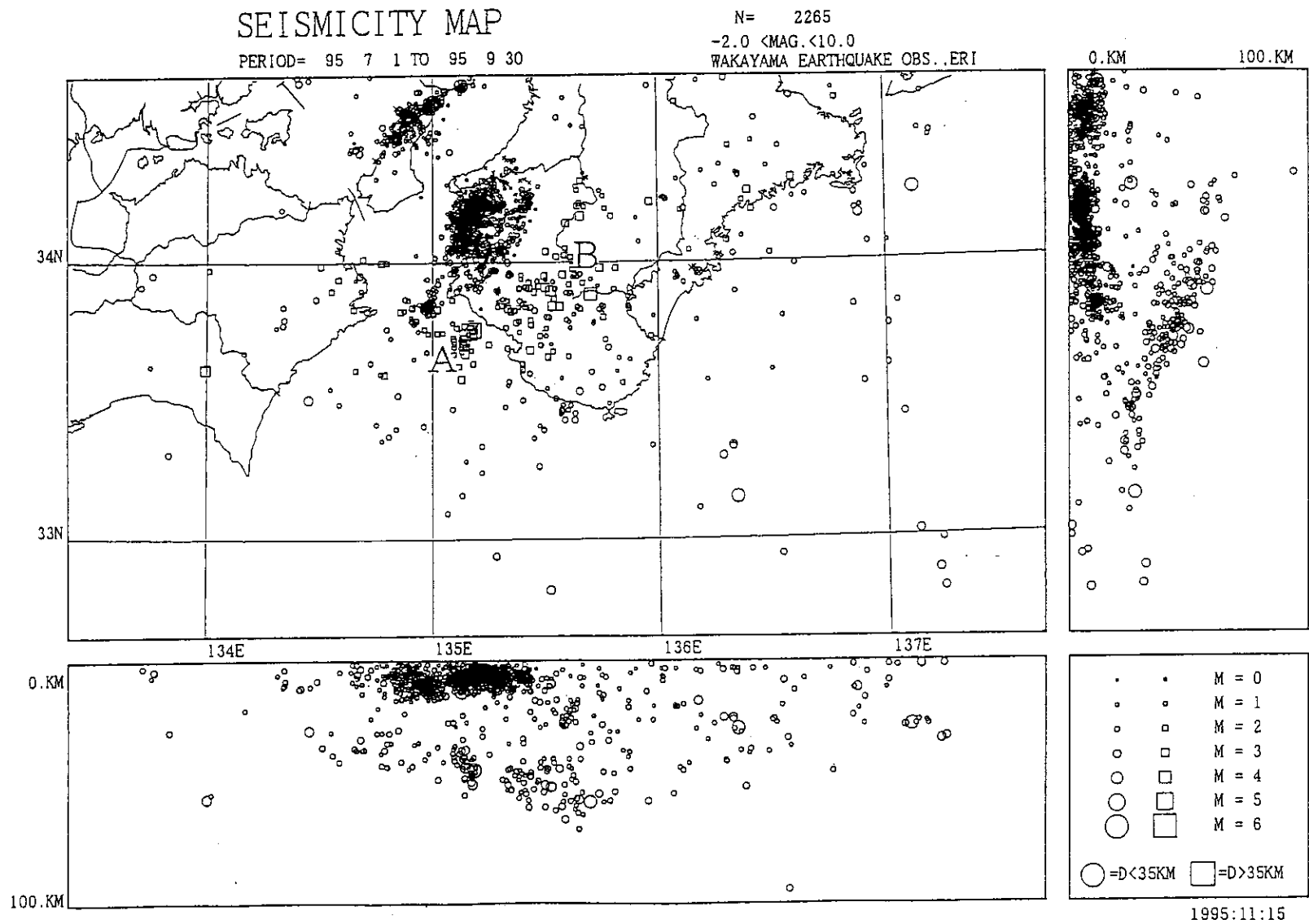


第6図 和歌山・有田付近の地震の時系列図（補助図の四角で囲んだ範囲をA-B方向の断面に投影）

Fig. 6 Space-time distribution of earthquakes in the region indicated by a rectangular frame, during the period Jan. 1995-Jan. 1996.



第7図 日の岬沖付近の地殻上部地震の時系列図（補助図の四角で囲んだ範囲をA-B方向の断面に投影）
 Fig. 7 Space-time distribution of earthquakes in the region indicated by a rectangular frame, during the period Jan. 1995-Jan. 1996.



参考図 前回報告文

紀伊半島およびその周辺部の震源分布図 (1995年7~9月)

Seismic activity in and around the Kii peninsula during the period Jul.-Sep., 1995.